

一般質問通告書

受領日時 令和7年2月26日 (午前)・午後11時20分 5番 氏名 佐沢 由佳子

質問項目	質問の要旨
1 五城目高校の存続を図ろう	<p>(1) 今年度、五城目高校の受験者数は15名、80名の定員に対し0.19倍。今後の後期選抜の動向も注視される。</p> <p>R7年度までの第七次秋田県高等学校整備計画(後期計画)では、「地元や秋田市からの入学者数が今後も一定数見込めるとともに、全県的に見た学校の配置状況等から特別な事情があることを考慮し、今後もキャリア教育をベースとした指導や地域との連携した教育活動の充実を図る。」となっている。</p> <p>R8年度からの第八次計画案においては、「入学者の減少が続いていることを踏まえ、地域の関係者や当該校と学校の活性化や今後の在り方について協議を行う。」と書かれており、また、地域校化・募集停止の基準として「1学年2学級規模の学校において、入学者数が募集人員の2/3以下の状態が2年間続いた場合、地域校化や募集停止等を検討する。」とも明記されている。</p> <p>令和5年4月の秋田県高等学校の再編整備構想検討委員会の報告書には「特別な事情があることを考慮してきたものの、ここ数年は募集定員に対して入学者が少ない状況が続いている。今後もこの状況が継続する場合には、地域校とするか、新たな形態の高校としての運用の可能性があるかについての検討も必要である。」と記述されている。</p> <p>まさに今、地域との話し合いが求められており、もう先送りできない状況ではないか。</p> <p>この小さな町に、高校までであるというのは魅力であり、素晴らしい資源であると考えます。</p> <p>五城目高校の存続を図っていくことに対しての町の考えを問う。</p> <p>(2) ババメベース開設当初から、ビジョンとして掲げている「世界一こどもが育つまち」という言葉がある。今では、「世界一こどもが育つまち」と検索すると五城目町とトップに出てくる。五城目町に住む町民が思っている以上に世の中に浸透している。</p> <p>この言葉どおり、ここ10年で教育関係者の移住してきた方や関係人口がたくさんいる。いろんな知見のある方たちを巻き込んで五城目高校魅力化プロジェクトを立ち上げるべきと考え</p>

	<p>る。町長が議員時代に例に挙げていた、広島県立加計高校や島根県隠岐島前高校など、高校の魅力化から町の魅力化に繋がった好事例もある。</p> <p>さらに、例えばかつて五城目高校にあった林業科を復活するなど特色のある科を設立することで、森林環境譲与税など姉妹都市の千代田区との連携も図ることも考えられるのではないかと。早急に動く必要があると考えるが、今後の町の姿勢を問う。</p>
<p>2 町公式 LINE の設置は</p>	<p>(1) 荒川町長が打ち出した45の施策の中に「町に住む方々の声が届く町内会長とのホットラインの確立」があり「新たに町公式LINEを設置」とも書かれている。</p> <p>まずは、町公式LINEを設置することで町内会長を含む全町民とのホットラインが出来るのではないかと。</p> <p>防災などの緊急情報やイベント情報など自分が選んだ情報を受け取ることが出来たり、LINE上で問い合わせや相談が出来たり、LINE版町長への手紙なども出来ると考えるがどうか。</p> <p>(2) 公式LINEは、全国518の自治体が導入している。秋田県では、秋田県、秋田市、横手市、男鹿市、湯沢市、大仙市、仙北市、能代市が導入済みである。</p> <p>運用にあたっては、先進事例が沢山あるため、より良いものを参考にし、各課ばらばらに縦割りの運用ではなく、各課全体と町民の利便性を視野に入れ運用ルールやメニューを定めていくべき、DX専門監にもアドバイスをもらいながら進めていくべきと考えるがどうか。</p>
<p>3 空き家対策について</p>	<p>(1) 全国空き家バンクに登録してはどうかと、9月の定例会において一般質問した。その段階では、「600件ほどの空き家があり調査中、WEBページにそのうち3件掲載している。全国版の空き家バンクの情報収集を行いながら、導入について検討する。」との答弁であった。その後の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 昨年移住してきた方に、移住のきっかけを尋ねたところ、家が気に入ったからとの回答だった。WEBページ五城目移住宣言がきっかけだったようだ。たくさんある空き家を資源ととらえ、全国版の空き家バンクの活用をしてもっと広く町内外へアピールすることが必要ではないかと。</p> <p>(3) 空き家の必要な情報収集や空き家バンクへのデータ入</p>

	<p>力などを専門に扱う職員を採用、または、集落支援員や協力隊の活用をしてはどうか。</p> <p>(4) 空き家を購入し移住した際、リフォーム補助金等の案内がなく、情報を得る際に苦労されていた方がいた。住民生活課、建設課など課をこえて、移住や町を通し空き家を購入した方などに必要な情報がすぐわかるように情報を整理したチラシを渡すなど工夫が必要と考えるがどうか。</p>
<p>4 乗り合いタクシーの利用状況は</p>	<p>(1) 2月1日から五城目町内を含む全域で乗り合いタクシーが利用可能になり、1回300円で利用可能となり利便性が高まった。新たな利用者は改定前よりどのぐらい増えたか。</p> <p>(2) 公共交通は、どの自治体でも大きな課題である。利用者の動向や意見を定期的に分析しながら柔軟に対応、変化しながら運行してほしい。</p>